

健康ワンポイントアドバイス



発行：十日町市中魚沼郡医師会

発行日：平成31年1月発行

第198号

医療福祉総合センター と うおぬま・米ねっと

十日町市中魚沼郡医師会 会長

十日町地域産業保健センター 代表

富田浩 先生

健康ワンポイントアドバイスをご覧いただいている皆様に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。十日町市中魚沼郡医師会 / つまり医療介護連携センターと十日町地域産業保健センターは、今年も地域の皆様の疾病予防ならびに健康増進を目指して活動します。皆様から益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

妻有地域の医療・介護・福祉の現状について私見を述べさせていただきます。当地域では高齢化と人口減少に伴い、地域医療や介護では需要と供給のバランスが急速に崩れつつあります。3年間で入院病床が140も減少する一方で、介護保険を申請する高齢者は5,000人を超えて増加しています。しかし、介護福祉でも深刻な施設数と人材不足があり、行き場のない要介護者は圏域外や他県の施設への入所を余儀なくされています。今後さらに在宅医療・介護の需要が高まりますが、高齢独居や夫婦のみ、あるいは独身の子との2人世帯が増えており、介護力不足はとても深刻です。新しい地域包括ケアシステムでは自助（本人や家族の力で生活と健康を維持する）・互助（友人・知人・近所同士で助け合う）・共助（医療・介護保険による社会保険サービスを利用する）・公助（それ以外の公的サービスを利用する）による社会保障をうたっていますが、自助や互助が困難となっているこの地域では、地域包括ケアシステムを運用のために行政の主体的な介入が必要と思われる。

そこで、平成32年4月開校の県立看護専門学校が併設される十日町市医療福祉総合センターでは、地域の医療・介護・福祉の諸問題に対応するための新しい仕組み作りが模索されています。これまで国民健康保険川西診療所で運営されていた十日町地域休日一次救急センターを移転するとともに、十日町市と関係諸団体が協働して、在宅医療・介護・福祉そして災害医療対策を一体的に進めて行く計画です。特に地域の中核病院である県立十日町病院退院後の患者さんの施設や在宅医療・介護への円滑な移行を目指し、在宅医療専門医師の招聘や訪問看護センターの開設、基幹型包括支援センター設置などが協議されています。さらに医療福祉総合センターには、県立看護専門学校の学生の訪問看護や施設看護実習の調整や、多職種の研修や学習の場としての活用も期待されています。

また、医療や介護の人材不足を克服するための取り組みも進められています。医療と介護の情報を双方で利用できるICTネットワークとして、新うおぬま・米ねつとが平成31年4月から運用されます。これまで魚沼医療圏の医療連携ネットワークであった旧うおぬま・米ねつとと、十日町市が独自に運用する医療介護連携ネットワークであるつまりケアネットが統合して、円滑で無駄のないコミュニケーションツールとして生まれ変わります。ぜひ、地域住民の皆様のご参加をお願いします。

十日町市 ホームページより…

医療福祉総合センター整備計画

施設整備の目的

* 医療と福祉を取り巻く環境の変化への対応

少子高齢化の影響により、医療と福祉を取り巻く環境は日々変化しています。市民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療と福祉の関係機関の連携強化を図る拠点として整備します。

* 看護職員の確保

看護職員の不足を解消するため、県立看護専門学校を含む複合施設を一体的に整備します。

* 休日救急体制の充実

一次救急を担う市の休日一次救急診療センターを医療福祉総合センター内に整備し、市民の皆さんの利便性の向上を図るとともに、二次救急を担う県立十日町病院との接続を容易にします。

施設整備計画

- 平成29(2017)年度:駐車場整備工事、用地取得
- 平成30(2018)年度:建設工事
- 平成31(2019)年度:建設工事(内装工事、外構工事)
- 平成31(2019)年度:10月竣工(予定)



十日町市役所 / URL: http://www.city.tokamachi.lg.jp/kenko_fukushi/C002/C006/1541497092865.html